

令和3年3月4日

報道機関 各位

第91回日本衛生学会学術総会（富山大会） 開催のお知らせ

2021年3月6日（土）から22日（月）までの間、オンラインにて第91回日本衛生学会学術総会を開催いたします。

衛生学は社会から大きな影響を受けながら発展し、社会のさまざまな局面でその成果を役立てていくことを求められてきました。「昭和」の時代は、戦後の栄養問題、高度経済成長期の公害・環境汚染対策に、「平成」の時代は、新たな環境課題の解決や生活習慣病予防に、衛生学の視点から対応策を提示してきました。「令和」という新たな時代を迎えた今、衛生学や日本衛生学会の使命を改めて考えたいという思いから、本大会のテーマは「これからの衛生学と日本衛生学会の使命」といたしました。

学会の内容については大会HPを参照ください。また、別紙にて一般市民に無料公開を予定している「市民公開講座」についてご案内いたします。ご参照いただけますと幸いです。

つきましては、取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

- <日時> 令和3年3月6日（土）から 3月22日（月）
 <開催サイト> <https://pcojapan.jp/jsh91/>
 <大会長> 富山大学学術研究部医学系 公衆衛生学講座 教授 稲寺秀邦



【本件に関する問合せ先】
 富山大学医学部公衆衛生学講座
 TEL: 076-434-7276
 FAX: 076-434-5073

第91回日本衛生学会学術総会 市民公開講座のお知らせ

一般の方が無料視聴可能な市民公開講座を右記 URL より配信します <https://pcojapan.jp/jsh91/public/>

市民公開講座 I 日用品に由来する化学物質のばく露と体内動態

配信期間：3月6日（土）14時から3月22日（月）24時まで

化学物質の健康への影響や、普段の生活でどれくらいの化学物質を取り込んでいるかについて解説します。

座長：磯部 友彦（国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター）

今そこにある危機：化学物質が未来の子どもたちにおよぼす影響	中山 祥嗣	国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター
日常的に使用する殺虫剤や忌避剤のばく露を把握する	上山 純	名古屋大学 大学院医学系研究科
化学物質のばく露を体内動態から考える	岩井 美幸	国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター
化学物質のばく露と体内濃度の関係を探る	磯部 友彦	国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター

市民公開講座 II エコチル調査 -10年のあゆみ-

配信期間：3月6日（土）16時から3月22日（月）24時まで

長期出生コホート調査であるエコチル調査がはじまってはや10年。この間のエコチル調査全体の取り組みをコアセンター長の山崎新先生が講演されます。また、富山ユニットセンターでの取り組みを3名の先生がわかりやすく解説します。

座長：山崎 新（国立環境研究所）／稲寺秀邦（富山大学）

エコチル調査10年のあゆみ ～研究成果を中心に～	山崎 新	国立環境研究所 エコチル調査コアセンター
富山ユニットセンターにおける エコチル調査のフォローアップ戦略	山崎（長井） 輝美	富山大学 エコチル調査富山ユニットセンター
富山からの精神・心理学領域等の成果	松村 健太	富山大学 エコチル調査富山ユニットセンター
富山からの栄養学領域等の成果	浜崎 景	富山大学医学部公衆衛生学

市民公開講座 III イタイイタイ病の歴史と展望

配信期間：3月8日（月）13時20分から3月22日（月）24時まで

富山県で発生したイタイイタイ病。その歴史と今後の展望について、この問題に長期的に取り組んできた先生方の講演です。

座長：青島 恵子（医療法人社団継和会 萩野病院）／堀口 兵剛（北里大学医学部衛生学）

イタイイタイ病の歴史と現状～カドミウム環境汚染による健康被害～	青島 恵子	医療法人社団継和会 萩野病院
吉岡金市の思想と実践—トラクター・ルイセンコ・イタイイタイ病	藤原 辰史	京都大学人文科学研究所
イタイイタイ病と戦争—神岡鉱山はなぜ甚大な被害をもたらしたのか	向井 嘉之	イタイイタイ病を語り継ぐ会
イタイイタイ病の展望～今後の予測と対策	堀口 兵剛	北里大学医学部衛生学